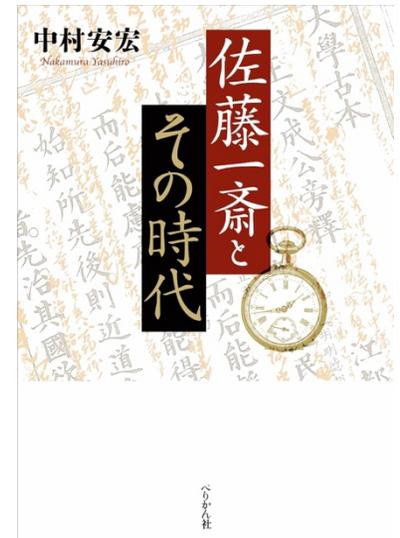


日本思想史研究会 3 月例会

中村安宏著

『佐藤一斎とその時代』

合評会



コメント

王 佳卉（東北大学・大学院研究生）

高橋 恭寛（多摩大学）

応 答

中村 安宏（岩手大学）

全体討論

〈内容紹介〉

佐藤一斎は、幕府直轄の学問所・昌平黌の教授を務め、江戸後期から幕末明治にかけて従学、私淑また交流した思想家は数多く、影響を与えているが、その著作「言志四録」はそれぞれ短い条文からなるもので、恣意的な選び方組み合わせで解釈が異なる可能性が大きい。そのため本書は稿本研究を青年期の思想に注目し、添削過程や書入など一斎が書き残したものを参照しその思想的営みを、時期的な変遷、その時代の思想状況の具体相を浮かび上がらせる。（ぺりかん社ホームページより）

日時 2025年3月22日（土）14時より

場所 東北大学文学研究科棟 6階 611 講義室

※終了後、懇親会を予定しております。奮ってご参加ください。

主催 日本思想史研究会

問い合わせ 佐々木隼相 (shunsuke.sasaki.c6@tohoku.ac.jp)